

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科目区分	その他	授業の方法	講義
科目名	放射線総合学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	4年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎801教室
担当教員	専任教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 診療放射線技師として必要な知識を確実なものとするためにこれまで学んできた講義内容を総合的に確認し、理解を深めます。これまでに学んできた内容について講義および診療放射線技師国家試験出題基準に準じた演習問題を合わせて総合的に授業を進めます。						
《成績評価の方法と基準》 筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 教科書:診療放射線技師国家試験 合格マイテキスト オーム社 参考図書:〈最新〉診療放射線技師 国家試験問題集 医療科学社						
《授業外における学習方法》 あらかじめ提示される講義スケジュールをもとに、該当科目の国家試験過去問、模擬試験問題を見直す。						
《履修に当たっての留意点》 この授業の前提となる科目はこれまでに学んだ専門基礎科目・専門科目全てです。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射化学に関する知識について説明できる	教科書	予習:関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習:該当科目の国家試験問題を解く。	
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化1(放射化学①)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射化学に関する知識について説明できる	教科書	予習:関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習:該当科目の国家試験問題を解く。	
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化1(放射化学②)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線源装置に関する知識について説明できる	教科書	予習:関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習:該当科目の国家試験問題を解く。	
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学:X線源装置)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線高電圧装置に関する知識について説明できる	教科書	予習:関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習:該当科目の国家試験問題を解く。	
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学:X線高電圧装置)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般X線装置システムに関する知識について説明できる	教科書	予習:関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習:該当科目の国家試験問題を解く。	
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学:一般X線装置)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器用X線装置システムに関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学:循環器用X線装置)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳房用X線装置システムに関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学:乳房用X線装置)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨密度測定装置システムに関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学⑩:骨密度測定装置)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	歯科用X線装置システムに関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学⑪:歯科用X線装置)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT装置に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学⑫:X線CT装置1)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT装置に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学⑬:X線CT装置2)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI装置に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学⑭: MRI装置1)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI装置に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学⑭: MRI装置2)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波画像診断装置に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学⑮:超音波画像診断装置1)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波画像診断装置に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学⑮:超音波画像診断装置2)		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科目区分	その他	授業の方法	講義
科目名	放射線総合学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	4年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎801教室
担当教員	専任教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 診療放射線技師として必要な知識を確実なものとするためにこれまで学んできた講義内容を総合的に確認し、理解を深めます。これまでに学んできた内容について講義および診療放射線技師国家試験出題基準に準じた演習問題を合わせて総合的に授業を進めます。						
《成績評価の方法と基準》 筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 教科書:診療放射線技師国家試験 合格マイテキスト オーム社 参考図書:〈最新〉診療放射線技師 国家試験問題集 医療科学社						
《授業外における学習方法》 あらかじめ提示される講義スケジュールをもとに、該当科目の国家試験過去問、模擬試験問題を見直す。						
《履修に当たっての留意点》 この授業の前提となる科目はこれまでに学んだ専門基礎科目・専門科目全てです。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼底写真撮影装置に関する知識について説明できる	教科書	予習:関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習:該当科目の国家試験問題を解く。	
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学⑩:眼底写真撮影装置)			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	各撮影装置の品質・安全管理に関する知識について説明できる	教科書	予習:関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習:該当科目の国家試験問題を解く。	
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(放射線機器学⑩:品質・安全管理)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI撮影技術に関する知識について説明できる	教科書	予習:関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習:該当科目の国家試験問題を解く。	
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学①:MRI検査1)			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI撮影技術に関する知識について説明できる	教科書	予習:関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習:該当科目の国家試験問題を解く。	
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学①:MRI検査2)			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波検査技術に関する知識について説明できる	教科書	予習:関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習:該当科目の国家試験問題を解く。	
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学②:超音波検査1)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波検査技術に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学②:超音波検査2)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼底カメラ検査技術に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学③:眼底カメラ1)		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼底カメラ検査技術に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学③:眼底カメラ2)		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼底カメラ検査技術に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学③:眼底カメラ3)		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI画像解剖に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学④: MRI画像解剖1)		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI画像解剖に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学④: MRI画像解剖2)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波画像解剖に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学⑤:超音波画像解剖1)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波画像解剖に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学⑤:超音波画像解剖2)		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼底画像解剖に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化2(診療画像検査学⑥:眼底画像解剖)		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線医薬品に関する知識について説明できる	教科書	予習: 関連する参考図書にも目を通して授業の予習をする。 復習: 該当科目の国家試験問題を解く。
		各コマにおける授業予定	放射線科学分野の強化3(核医学検査技術学①:放射線医薬品1)		